常設展示

小坂をつくる大地

小坂の繁栄を支えた黒鉱鉱床の生成から縄文・弥生・古代の人々の生活までを展示。ダイナミックな地球の活動と人類の躍動を学ぼう。

人々の暮らしと鉱山

小坂鉱山の開発の貴重な資料を展示。小坂町を支えた小坂鉱山の隆盛の謎を解き、明治の躍進を体感しよう。

小坂の自然

豊かな水とブナ林に囲まれた十和田湖がある小坂。町内に棲息する動植物を展示。画家達が愛した美しい十和田の自然に触れよう。

長井辰男コーナー

小坂町出身で法医学の権威である長井辰男博士の功績を展示。世界で活躍する小坂人。さぁ、君も世界に羽ばたこう！

屋外展示場

常設展示
旧止滝発電所一号発電機

屋外展示場には、旧止滝発電所で使用されていた「旧止滝発電所一号発電機（秋田県指定有形文化財）」・水道共用栓モニュメントを展示し、小坂町発展の歴史を模型・パネル等で紹介しています。

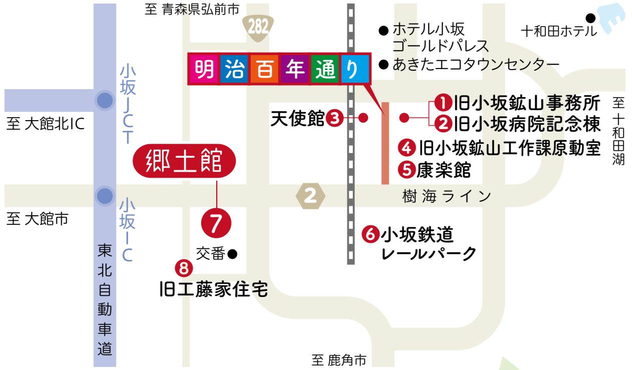
文化財巡り

小坂の文化財を体感しよう!!

町内散策の後は、十和田湖・十和田ホテルへ 🚗
※2

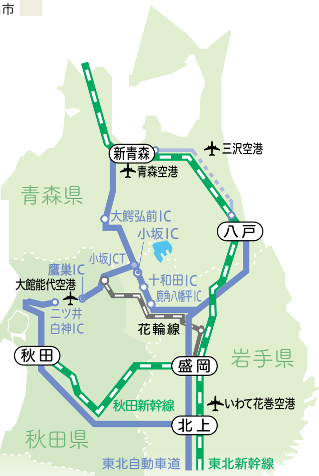
- ❶ 旧小坂鉱山事務所 ※1
- 徒歩すぐ
- ❷ 旧小坂病院記念棟 ※2
- 徒歩1分
- ❸ 天使館（旧聖園マリア園）※2
- 徒歩1分
- ❹ 旧小坂鉱山工作課原動室 ※2
- 徒歩1分
- ❺ 康楽館 ※1
- 徒歩3分
- ❻ 小坂鉄道レールパーク ※2、3
- 徒歩10分
- ❼ 小坂町立総合博物館 郷土館
- 徒歩10分
- ❽ 旧工藤家 中小路の館 ※3

※1 国重要文化財　※2 国登録有形文化財　※3 秋田県指定有形文化財


至 青森県弘前市
282
明治百年通り
ホテル小坂ゴールドパレス
あきたエコタウンセンター
十和田ホテル
至 大館北IC
小坂JCT
天使館❸
❶旧小坂鉱山事務所
❷旧小坂病院記念棟
❹旧小坂鉱山工作課原動室
❺康楽館
至十和田湖
郷土館
2
樹海ライン
至 大館市
小坂IC
東北自動車道
❼
交番
❽
旧工藤家住宅
❻小坂鉄道レールパーク
至 鹿角市

交通案内

- ■東北自動車道小坂ICから車3分
- ■高速バス小坂インター入口からタクシーで2分
- ■秋北バス小坂操車場から徒歩3分
- ■秋北バス中前田から徒歩5分


新青森
青森空港
三沢空港
青森県
大鰐弘前IC
小坂IC
八戸
小坂JCT
鷹巣IC
大館能代空港
十和田IC
鹿角八幡平IC
二ツ井白神IC
花輪線
秋田
盛岡
岩手県
秋田新幹線
いわて花巻空港
北上
秋田県
東北自動車道
東北新幹線

開館時間	午前9時〜午後5時 （最終受付 午後4時30分）
休館日	毎週月曜日 （月曜日が祝日の場合はその翌日） 冬季休館 12/20〜3/10
利用料金	無料

※特別展や企画展の料金は、別途定める場合があります。

小坂町立総合博物館 郷土館

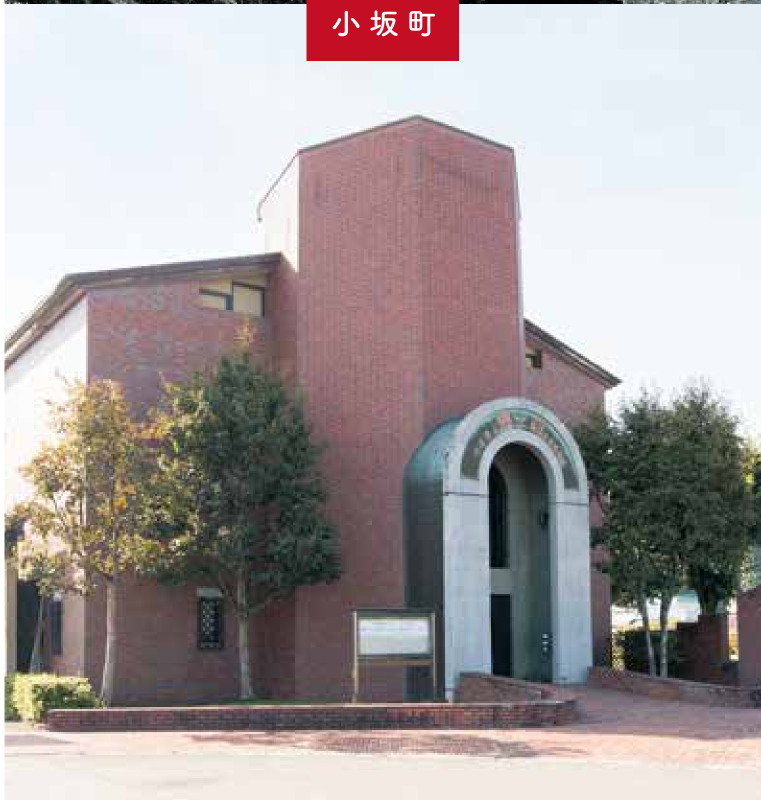
〒017-0201 秋田県鹿角郡小坂町小坂字中前田48番地1
TEL 0186-29-4726　FAX 0186-29-2207
kyodokan1982@town.kosaka.akita.jp

十和田湖と
鉱山のまち小坂

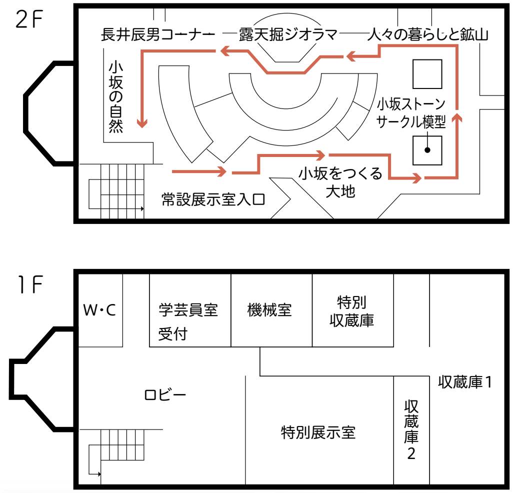
郷土館

秋田県
小坂町

秋田県の鉱物「黒鉱」



かつて
日本三大銅山と
うたわれた小坂町
そのなりたちを
体感しよう

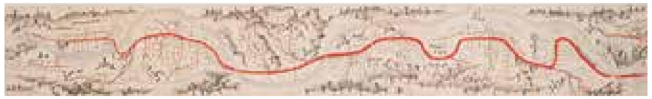


主な所蔵資料

歴史

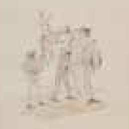
常設展示
小坂町指定有形文化財
「岩偶」

常設展示
小坂町指定有形文化財
「台付土器」



所蔵資料
小坂町指定有形文化財
「毛馬内御代官所御絵図」

常設展示
秋田県指定有形文化財
「蛤刃形磨製石斧」



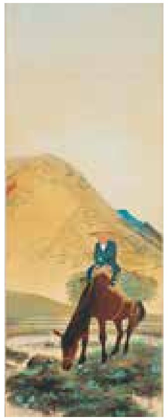
常設展示
小坂町指定有形文化財
「クルト・ネットー資料」
豚の屠殺

所蔵資料
秋田県指定有形文化財
「旧小坂鉱山資料」

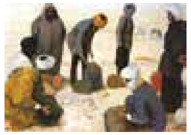
民俗

常設展示
町指定無形民俗文化財
「濁川の虫送り」
藁人形
※毎年6月第一日曜日開催（濁川地区）

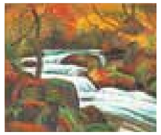
美術



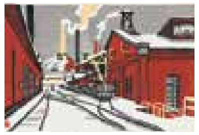
所蔵資料
福田豊四郎
「早苗曇り」



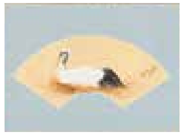
所蔵資料
伊勢正義
「異邦人No.7」



所蔵資料
小林喜代吉
「奥入瀬渓流」



所蔵資料
小泉隆二
「煙突の見える鉱山風景」



所蔵資料
柴田春光
「鶴の巣ごもり」

小坂の偉人

おおしま　たかとう
大島　高任

文政9年（1826）～明治34年（1901）
岩手県盛岡市出身

盛岡藩士。日本近代製鉄の父と呼ばれ、那珂湊反射炉（茨城県指定史跡）や橋野高炉（世界遺産「明治日本の産業革命遺産」・国指定史跡【岩手県釜石市】）を建設。明治維新後は、小坂鉱山の発展に尽力。

ふじた　でんざぶろう
藤田　伝三郎

天保12年（1841）-大正元年（1912）
山口県萩市出身

藤田組（現DOWAホールディングス株式会社）創業者。東の大倉組、西の藤田組と並び称された関西政財界の重鎮。阪堺や南海電鉄の創業、琵琶湖疏水、児島湾干拓、佐世保、呉の軍港建設と大きな足跡を残した。

くはら　ふさのすけ
久原　房之助

明治2年（1869）～昭和40年（1965）
山口県萩市出身

藤田伝三郎の甥。藤田組に入社し、自熔製錬という新技術を開発し、小坂鉱山を銀鉱山から銅鉱山に転換。小坂鉱山の苦境を助け、日本一の銅山の基礎を築いた。その後、政界入り。政友会総裁・逓信大臣などを歴任。

おだいら　なみへい
小平　浪平

明治7年（1874）～昭和26年（1951）
栃木県栃木市（旧都賀町）出身

国産電機技術の確立者。藤田組に入社し、小坂鉱山の電気主任技術者として発電所建設等に携わる。藤田組退職後、日立製作所を設立。日立グループの基礎を築いた。

わいない　さだゆき
和井内　貞行

安政5年（1858）～大正11年（1922）
秋田県鹿角市出身

明治38年（1881）和井内ふ化場を完成させ、ヒメマスの養魚に成功。十和田湖地域の食糧事情を改善。死後、その功績を称え、夫人・勝とともに和井内神社に祀られる。